

立憲民主えびな

賛成

○全ての会計予算に賛成

「未来へ躍進、つながるまち海老名」として編成した令和8年度予算総額は93.1億5400万円と5年連続して過去最高であり、歳入の柱である市税は前年度比4%増の28.3億8800万円と堅調な伸びを見込んでいます。主要事業の「充実して暮らせるまち」では自治会支援の充実を図るために、市による今後の自治会の負担軽減、活性化が期待され、(仮称)文化交流拠点施設の整備では、熟考を重ね、新たな文化ゾーンとして広く市民に開かれた施設へと進められることを願っています。▽「健やかに暮らせるまち」では保育需要の高まりへの対応として、待機児童の解消に向けて着実に進められることを願っています。▽「便利で快適に暮らせるまち」の中新田丸田地区土地区画整理事業の推進では、近隣公園の整備で地域住民が安心して過ごせる居住空間の質向上やヒートアイランドの緩和も考えられます。▽「豊かな学びを育むまち」では今泉小学校・中学校において、海老名駅西口の人口増に対応して増築校舎の整備が進められます。人口が減った時の余った教室は地域の住民に有効活用されます。▽「安全で安心して暮らせるまち」では老朽化している指揮車、消防支援車、高規格救急車が更新されます。▽「かがやきを創造するまち」では本庁舎増築棟の整備により、動きやすいオフィスレイアウトや窓口の視認性の向上が図られます。▽「新たな発見ができるまち」では各種SNSの活用で情報配達の充実が図られます。海老名市ではこの先の何年かは人口増加が見込まれますが、人口が減少する時代をしっかりと見据え、躍進の1年に向けて実行する時は今であり、費用対効果という回収は必ず進めていくことを期待しております。



今泉小学校増築校舎のイメージ

市政に関する一般質問の概要

3月12日、13日、16日に議員18名が市の考えをたどりました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、市議会議員が市長などの執行機関に対して、海老名市の行政事務全般にわたってその執行状況や今後の方針などについて説明を求め、議員の考えを表明するなど、よりよい市政を目指してさまざまな議論が行われています。

今回は教育や福祉、まちづくりの分野をはじめ市民に身近な問題を中心に、41項目の一般質問がありました。詳しい内容は会議録でご確認ください。

<会議録の閲覧・検索>

会議録は市役所1階の情報公開コーナー、中央図書館、有馬図書館でご覧いただけるほか、インターネット上で公開しています。市のホームページから「海老名市議会」→「会議録検索」

<本会議の録画配信>

一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネットで録画配信しています（これは海老名市議会の公式記録ではありません）。市のホームページまたは市議会のホームページから「本会議中継」→「本会議録画配信」[一般質問の録画配信はこちらから▶](#)



小学校における

学校給食費負担軽減について

政進会 森 英之

問 海老名市における学校給食の教育上の意義・立ち位置のご認識を改めて伺います。

答(教育部長)：学校給食は単なる食事の提供にとどまらず、栄養バランスのとれた食事を通じた健康の保持増進を目的としています。また、食べることを通じて食に関する理解や望ましい食習慣の形成、さらには社会性や協働性の育成を目的とした教育活動の一環として実施しています。

問 海老名市学校給食費に関する条例の一部改正において、市としては、給食の食材費と国の交付金との差額を保護者から徴収することとしています。その選択を行った理由について、改めて伺います。

答(教育部長)：国からの通知には、国の交付金制度との差額については自治体の判断で、保護者から徴収することは可能であるという旨が示されています。学校給食法の給食費は保護者負担という原則が現在維持されており、国の交付金制度の基準額を超える部分については、保護者負担を求める方針を定めたところです。

問 今後、物価高騰分も踏まえ、現時点でも給食費のうち保護者にご負担いただく部分がある以上、保護者や教員、栄養士、そして教育委員会や関係者が一堂に会し、どのような給食を目指すのかを話し合う場や仕組みが必要ではないかと考えますが、ご見解をお伺いいたします。

答(教育長)：物資購入選定委員会に保護者の方も加わり、物資の選定を行っております。来年度から、家庭と教育委員会が連携して、綿密に話し合う場を設けてまいります。

その他の質問

・市政アンケート調査から見える課題と解決策について

